

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 709

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	岩嵜 志保
事業名	人権教育事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	障害者講座			政策体系	411
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 1.社会		

1. 事業の概要

講座を通じて社会教育の観点から障がいのある方(成人)の社会参加の促進と交流を深める。
視覚障害者成人講座、聴覚障害者成人講座の実施（施設見学、制作活動、体験活動等）

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

障がいのある方々の豊かな生活向上と社会参加の促進を図るため、様々な体験活動をとおして学習意欲の向上につなげる。

②事業を実施する必要性

障がいがあることによって活動の範囲が狭まることを防ぎ、参加者の方が継続して学び続けよう意識を持っていただく。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円		13	30	17	84	84	84
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円		0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円		13	30	17	84	84
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.27	0.25			
人件費	千円	—	—	1,554	1,429			
事業費総額	千円	—	—	1,584	1,446			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

講座講師への謝礼 17,000円（報償費）

5. 事業結果の概要

- ・視覚障害者を対象とした講座 2回実施
（日吉ダム見学、講演会）
- ・聴覚障害者を対象とした講座 5回実施
（ニュースポーツ、陶芸教室、工場見学、社会見学、料理教室）

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 聴覚障害者		
第1回聴覚障害者成人講座 ミニ七夕飾り作り・ニュースポーツ体験（日吉町生涯学習センター）	平成21年7月7日	参加者16名（うち要約筆記・手話通訳等ボランティア7名）
第2回聴覚障害者成人講座 陶芸教室（園部公民館）	平成21年8月4日	参加者15名（うち要約筆記・手話通訳等ボランティア4名）
第3回聴覚障害者成人講座 工場見学（コカコーラ京都工場：京都府久御山町）	平成21年9月18日	参加者13名（うち要約筆記・手話通訳等ボランティア4名）
第4回聴覚障害者成人講座 秋の散策（京都府亀岡市）	平成21年11月24日	参加者14名（うち要約筆記・手話通訳等ボランティア6名）
第5回聴覚障害者成人講座 料理教室（八木公民館）	平成22年2月23日	参加者12名（うちガイドヘルパー5名）
(2) 視覚障害者		
第1回視覚障害者成人講座 日吉ダム見学と工場見学（日吉ダム・京都井筒八ツ橋本舗）	平成21年7月10日	参加者12名（うちガイドヘルパー4名）
第2回視覚障害者成人講座 視覚障害者福祉のつどい（園部公民館）	平成21年10月6日	参加者12名（うちガイドヘルパー4名）

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

- ・ 事前に参加者の代表者や福祉事務所担当職員とも意見交換し、連携して参加しやすいような内容の企画立案ができた。
- ・ 参加者同士の交流が深まり、誘い合って受講されるようになった。
- ・ 今後に向けて参加者が継続して学べるよう講座の内容を考慮すべきである。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
参加しやすいような内容の企画立案
- ②当該事業のアピール事項
参加者同士の交流が深まり、誘い合って受講されるようになった
- ③反省点、今後の展開・方向性等
参加者が継続して学べるよう講座の内容を考慮すべき